

寄稿

飯田 義明

経済学部教授



▲ テーブルマウンテンの山頂から望むスタジアム

そこに足を踏み入ると「フォーフォーと凄まじいブブゼラの音と人々の明るい声が鳴り響いていた。今回、6月7日から9日の3日間、ポートエリザベスで学会発表があり、初めて南アフリカの地を踏むこととなった。ちょうどこの時期、南アフリカ大会が6月11日から7月11日までの約1カ月間開催されていた。学会発表の後、南アフリカの街々を巡り、熱気あふれるアフリカ大陸初のワールドカップ試合観戦の機会を得ることができたので、その様子を南アフリカの歴史的背景を含め報告をさせていただきます。



▲ フリカ大会が6月11日から7月11日までの約1カ月間開催されていた。学会発表の後、南アフリカの街々を巡り、熱気あふれるアフリカ大陸初のワールドカップ試合観戦の機会を得ることができたので、その様子を南アフリカの歴史的背景を含め報告をさせていただきます。



▲ ヨハネスブルクの中心地

熱気あふれる南アフリカ実感 ワールドカップサッカー

「虹の国」の光と影

皆さんは世界地図からパッと南アフリカの位置を指し示すことができるだろうか。ここは16世紀以後、インド洋と大西洋をつなぐ(すなわちヨーロッパとアジアをつなぐ)通商航路の重要な地点とされた喜望峯(西ケープ州)を有するアフリカ最大の経済大国なのである。

1652年にオランダ人が入植し、1806年にイギリス人がケープタウンを占領することになり、以後イギリス人の街が形成されていく。オランダ人は内陸部に移動し、アフリカーナーと呼ばれる、現地語と融合した人種差別が深刻化していった。21世紀の直前まで「虹の国」と呼ばれるようになったのだ。

もう一つ、南アフリカで忘れてはいけないことは、21世紀の直前までアパルトヘイト政策と呼ばれていた人種差別が深刻化していった。21世紀の直前までアパルトヘイト政策と呼ばれていた人種差別が深刻化していった。

この国はイギリスの影響を色濃く反映しており、ラグビー、クリケット、テニス、ゴルフなど、世界的な活躍がみられるスポーツであるが、基本的には白人社会中心で行われている。サッカー、ラグビー、ゴルフが中心として広がっていった。街を車で走ると、いまだに白人と黒人の住む地区が分かれていることがすぐに理解できる。我々がプレトリアで宿泊したホテルは白人地区の

れた部屋が広がっていた。ただ周囲の塀の上にはホテルとは判別せず、車が1台しか通れない門から中に入っていくと、そこには中庭を中心としたコテージのように分けられた部屋が広がっていた。地域的に旧白人地区であれば大学ラグビースタジアムを有しているほどだ。

南アフリカのスポーツとサッカー

この国はイギリスの影響を色濃く反映しており、ラグビー、クリケット、テニス、ゴルフなど、世界的な活躍がみられるスポーツであるが、基本的には白人社会中心で行われている。サッカー、ラグビー、ゴルフが中心として広がっていった。街を車で走ると、いまだに白人と黒人の住む地区が分かれていることがすぐに理解できる。我々がプレトリアで宿泊したホテルは白人地区の

出場で優勝したことだ。この時、大統領であったネルソン・マンデラは、白人の象徴である代表(スプリングボクス)ユリ、その意味で同質化が進んできたように思える。またドイツ代表などは23人中、11人が移民系選手となっていたのも今の世界の状況を現しているように思える。日本も世界で上位進出を目標にするなら、グローバルなサッカー市場で活躍する選手がますます輩出されないと困難だろうと感じさせられる。

最後に、今回は日本代表の活躍により、日本中に活力を与える「記憶に残る大会」になったのではないだろうか。その一方、「日本サッカー界には何が残ったのだろうか?」このテーマに関して



▲ スラム街と空き地



▲ 各国ファンの熱気が入り交じったスタジアム



▲ デンマークのファン

「虹の国」と呼ばれるようになったのだ。もう一つ、南アフリカで忘れてはいけないことは、21世紀の直前までアパルトヘイト政策と呼ばれていた人種差別が深刻化していった。21世紀の直前までアパルトヘイト政策と呼ばれていた人種差別が深刻化していった。

最後に、今回は日本代表の活躍により、日本中に活力を与える「記憶に残る大会」になったのではないだろうか。その一方、「日本サッカー界には何が残ったのだろうか?」このテーマに関して

ワールドカップを観戦して

ナショナル・イベントからビジネス・イベントへ

6月7日、日本から約20時間かけて南アフリカ国際空港のヨハネスブルクに入った。学会会場はポートエリザベスというインド洋側の都市であり、トランジットのため

守られているということであって、そこ以外へ出るということは何が待ち受けているか判らないというところもある(犯罪率は世界トップクラス)。試合は、ケープタウンで開幕戦の「フランスvsウルグアイ」、ヨハネスブルクから1000キロ程内陸部に入ったルステンブルグでの「アメリカvsイ

いいだ・よしあき経済学部教授、筑波大学大学院修了。日本フットボール学会(理事)、スポーツ社会学会などに所属。ユニバーシアードサッカー日本代表チームのコーチなどを歴任。主な担当科目はスポーツ社会学論、スポーツ文化論ほか。



▲ オランダのファン